
海月ナイト

泡沫姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

海月ナイト

【Nコード】

N8904P

【作者名】

泡沫姫

【あらすじ】

切なく悲しい運命でも

大好きな人のぬくもりを感じて

いられるなら受け止めてみせる・・・

そんな悲しい少女の物語。

夜空に浮かぶ月って

クラゲみたいだね

なんて、言ったのは君。

それからあたしは

夜空に浮かぶ月も

クラゲも

君も

本当にびっくりするくらい

大好きになったんだ。

[illegible]

あれから5年。

君もクラゲも

あたしには、もう

みることができない。

きつと一生。

あたしには聞しかみることができない。

光がみえない、

ちがう・

『うつらない』 んだと思う。

今じゃあの日のことなんか

思い出せない。

だって胸が痛むから

もう一度みたいと願っていしまう。

そんなことありえないのに。

お医者さんだっ
てわからない
といっ
たんだから。

クラゲも

君の姿も

もう

わかんないよ。

君はあたしを好きだと言ってくれて

クラゲは毎日夜空に浮かぶのに。

何もかもうつらないよ。

あの日みた君も、

クラゲも

もう何一つ思い出せないけど

好きだって
気持ちは今だって胸に溢れてる。

君がおしえてくれた夜空のクラゲはもうみれないけど。

どうか、せめて

大好きな君のぬくもりくらいは

感じていたいよ。

(後書き)

駄文ですが初投稿なので
大目に見てくださいと嬉しかったです笑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8904p/>

海月ナイト

2011年1月9日04時59分発行